

飛翔後記

今回は編集長として、『飛翔』の制作に携わらせていただきました。多くの方のご協力あつての『飛翔』であることを実感し、また幅広い専門が学べる総科の部報だからこそ経験できる良さにも気づくことができました。次号からは国際共創学科の留学生の30生とも一緒に制作に携わる予定なので、次号制作も楽しみです。

編集長 中山 恵里

今回、私は、主に自然探究領域の飯間先生の研究室紹介コーナー、特集コーナーを担当しました。この中で特に印象的だったのは、飯間先生のインタビューを通して、今まで遠くに感じていた数理科学の世界にも、実際は、私が今まで経験してきたことと似ていたり置き換えられる部分があることに初めて気付いたことです。このように飛翔作成を通して新たな発見ができたことを嬉しく思います。

副編集長 山本昌奈実

今回は副編集長の一人として、『飛翔』の制作に関わることができてよかったです。たくさんの方に協力していただき、仕事をやり遂げることができました。また、今回も実際に取材に行かせていただき、新たな学びを得ることができました。この経験を活かし、これからも学生として、いろんなことにチャレンジしていこうと思います。

副編集長 横山 駆

今回は先生への取材や班特集でのアンケート、レビューなどもさせていただきました。取材したり編集したり、とても楽しかったです。編集長、副編集長のみなさんには、ここまで引っ張ってくれたことに感謝しかありません。

原 ゆうみ

今回は2回目の仕事ということもあり、要領よく済ませられた部分もありました。もちろん学びもたくさんです。特に、新設される国際共創学科について様々な情報を得ることができたので、来年度への期待も膨らみました。今回も、インタビューを快く受けてくださった先生方、先輩方をはじめ、たくさんの方の協力のもと『飛翔』を発行できたことを感謝します。ありがとうございます。

大西 海光

先生方の興味深いお話を聞けて、とてもいい経験になりました。

この経験を次に活かしていきたいです。

安部 雄登

今回は文字起こしとレビューを担当しました。制作に関われて良かったです。

駄場 千晴

飛翔を通して、普段は聞けないような先生の話の話を聞けて良かったです。機会があればまたしたいと思います。

有本佳那子

最小限の仕事しか手伝えませんでした、おすすめの映画まで紹介させてもらって楽しかったです。ありがとうございました。

小西 里佳

飛翔編集委員として、私は今回主に社会担当領域のインタビューの文字起こしと特集の総合科学部の行事・班紹介を担当させていただきました。原稿の提出がいつも締め切りぎりぎり編集長はじめ皆さんに沢山迷惑をおかけしてしまい申し訳ありませんでしたが、大変貴重な経験となりました。ありがとうございました。2度目の飛翔制作に携わらせていただきました。今回も先生にインタビューに行き本誌には載せていない話も色々出来たのが良い経験になりました。

中村日菜子

2度目の飛翔制作に携わらせていただきました。今回も先生にインタビューに行き本誌には載せていない話も色々出来たのが良い経験になりました。

立花 紗希

自分の興味のある教授に話を聞きに行けたことが良い経験になりました！
また打ち込みの編集も、録音を聴きながら打つという普段は中々しないようなことができて、楽しかったです！

齋藤ひかる

今回は自分と異なる探求領域の分野を知れて楽しかったです。総科だからこそ知れることだと感じます。

難波 楓

1年間『飛翔』メンバーとして作成に関わって、普段ではなかなかできないような貴重な経験をすることができました。この経験を、今後にも活かしていけたらと思います。

横尾 佳澄

一つの本を創り上げることの大変さをこの活動を通して知ることができました。飛翔の編集に関わられて良かったです。

久芳 和巳

文字起こしやレイアウトなど初めてのことが多く、戸惑うこともありましたが、とても良い経験になりました。この冊子の発行にあたり協力してくださった皆さん、ありがとうございました。

北谷 彩加

普段は聞くことのできない貴重なお話を聞くことができよかったです。いい経験になりました！もっと頑張っていきたいです！

岡本 昂大

編集委員の皆さま、お疲れ様でした。今回の先生方へのインタビュー、全体的に「(笑)」が多い気がします。実際のインタビューで昔より「(笑)」が増えているのではなく、文字起こしをする編集委員の皆さんには、この世知辛い状況の中で「(笑)」を入れるのが重要だと考えたのだと拝察します。未来のインタビューだと「卍」が多発するような紙面になったりもするのでしょうか。一度見てみたいものです。

広報・出版委員会（飛翔担当）鈴木 俊哉

『飛翔』93号の編集を担当されたみなさん、お疲れ様でした。先生方とOBのみなさんが語学や数学などの基礎的な勉強の重要性と学生時代にできるだけ多くの人々と触れ合う経験の大切さを説かれていたことが興味深いです。総合科学部はこれら二つを同時に経験し習得することのできる場所です。来年度からは国際共創学科がスタートしさらにそうした機会も増えるでしょう。長いようで短い学生時代を大いに満喫してください。

広報・出版委員会（飛翔担当）柳瀬 善治

初めて飛翔を担当させていただき、不慣れな点が多く、先生方をはじめ、編集担当の学生さんにもご迷惑をかけた事と思いますが、総科の良い点を発見でき、勉強になりました。この場を借りてお礼を申し上げます。

総合科学研究科支援室（学生生活担当）古川あすか